

SPORTOP

取扱説明書

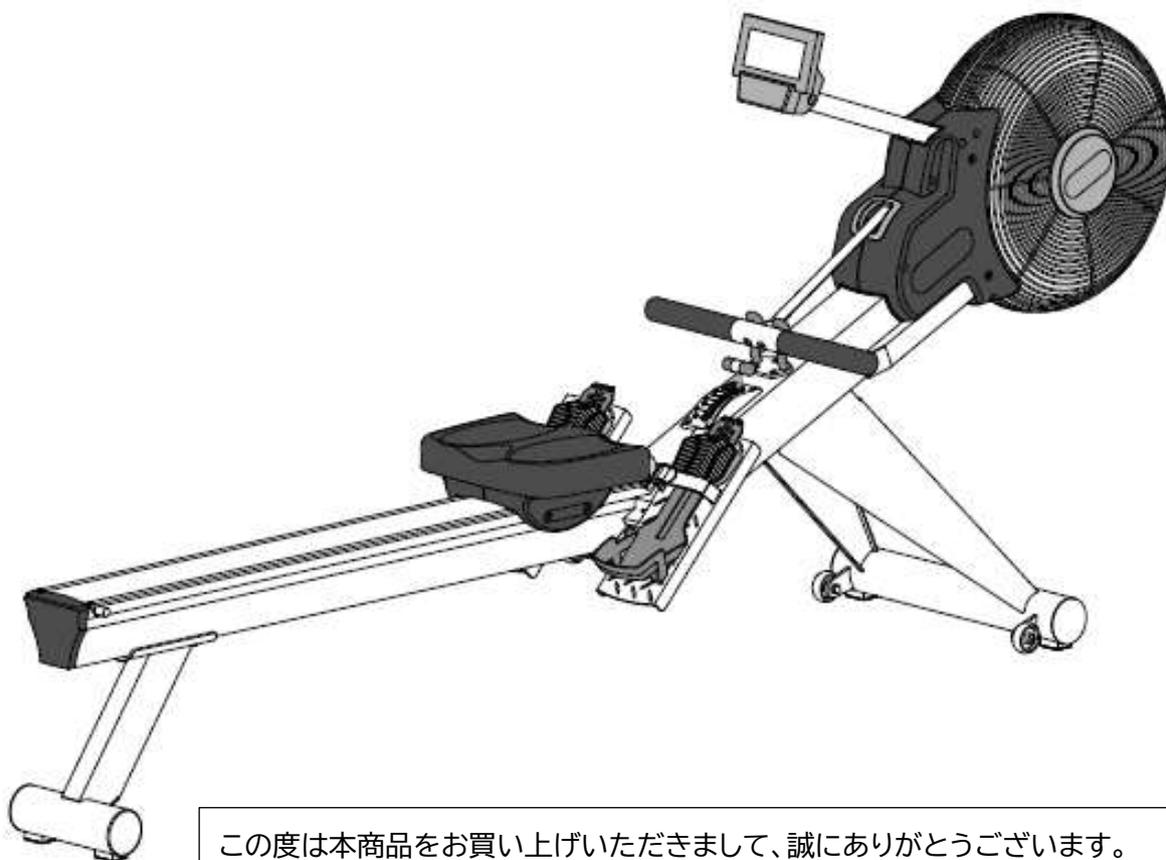
セミコマーシャルモデル



高精度磁気ディスク装置

ファン・マグネット式ローイング

FR900



この度は本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。
取扱説明書はお読みになったあとも大切に保管してください。

もくじ

「安全におつかいいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

安全におつかいいただくために	1~5
部品一覧表	6
組立方法	7~9

使用方法について

電池交換方法&折り畳み方法	10
移動・表示パネルの角度調整方法について	11
表示パネルの説明	12
モード設定方法について	12~19
脈拍測定について	20

その他

保証書

安全におつかいただくために

この度はローイング FR-900 をお買い求めいただきありがとうございました。

- ご使用前にこの「安全におつかいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

健康を害することを防ぐための注意事項

警告

- 本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病(狭心症・心筋梗塞など)、高血圧症(降圧剤を服用中の方など)、糖尿病、呼吸器疾患(ぜんそく・慢性気管支炎など)、変形性関節リウマチ、痛風など)

注意

- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。
- ご使用前には、十分なストレッチやウォーミングアップを行って下さい。

お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項

警告

- お子様は遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。

注意

- 本機を使用している時にお子様を本機に近づけないでください。

設置上の注意事項

警告

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- 本機の改造は絶対にお止めください。

注意

- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。さびが発生する恐れがありますので、注意してください。
- 湿度が多い、風通しが悪い、直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 平坦な床面に安定した状態で設置し、十分に動けるスペースをとって使用してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所、また運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。
- 本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。
- 電気的な各接続部は、確実に接続されており、濡れたり、燃えやすい物が近くにあることを確認してください。
- 本機には重い部品や、鋭利な部分がありますので、成人が組み立ててください。組み立ての際には軍手等を着用してください。
- コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

保管上の注意事項



(保管方法及び保管上の注意)

- 保管時は別の用途には使用しない様、特に子供が使用しないよう注意してください。
- 屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けて下さい。また、直射日光や高温の場所に保管しないでください。
- 本機の安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。
- メンテナンス等で、カバーを外す場合は販売店にご相談ください。

(お手入れ上の注意)

- 汚れや使用後についた汗等は、石鹼水を含ませよく絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。
- 油の塗布及び注油は行わないでください。

使用上の注意事項



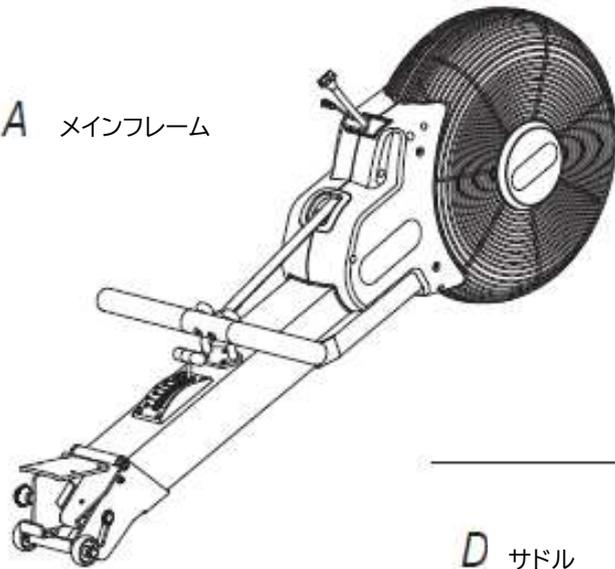
- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装としてください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- トレーニング中に、目まいや吐き気、その他身体に変調を感じたら、ただちに使用を中止してください。



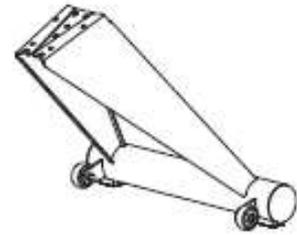
- ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認してください。
- このマシンの使用体重制限は120kg 以下です。
- 用途(所定の使用方法)以外の使用を行わないで下さい。
- 同時に2人以上での使用、後ろ向きでの使用、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りは絶対にしないでください。
- ご使用の前に必ず本機の状況をチェックしてください。
- 本機、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。
- 本機の上に絡みやすいものを置いたり、操作パネルやハンドルバーにタオル等を掛けたりしてのご使用は、本体に巻き込まれる危険がありますのでお止め下さい。
- 乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押したり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。
- 不具合が生じた場合には、ご購入元の販売店又は弊社に連絡し対処方法を確認してください。

部品一覧

A メインフレーム



B フロントスタビライザー



C リアスタビライザー



D サドル



L チェストストラップ



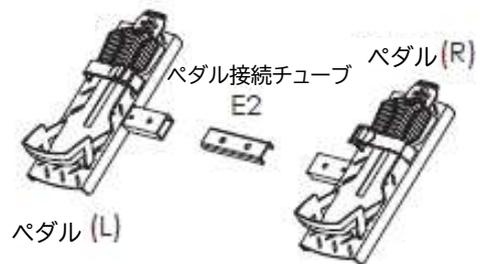
F スライドトラック



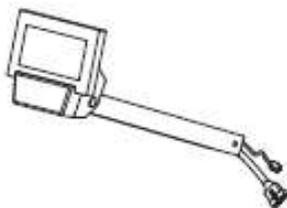
E サドルカバー



H ペダル&
ペダル接続チューブ



G コンソール



J

(G6) ネジ M6*12



工具 :

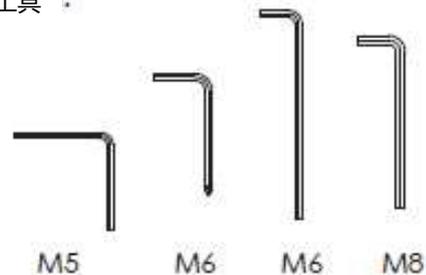


図1

フロントスタビライザーの組み立て方

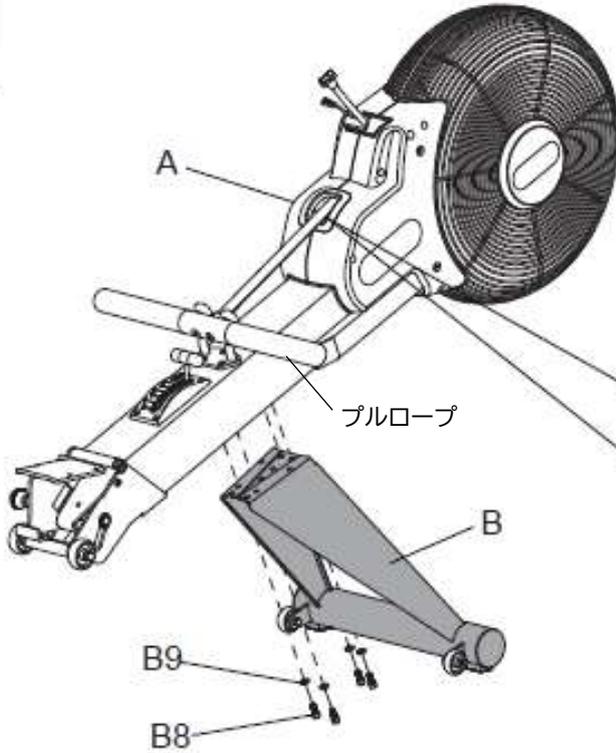
フロントスタビライザーを組み立てる際は、2人で作業することをお勧めします。
また、メイン フレーム (A) をカートン ボックスの上面に平らに置くこと作業しやすくなります

ステップ 1 : あらかじめ取り付けられているネジ (B8) とワッシャー (B9) をメイン フレーム (A) から取り外します。

ステップ 2 : フロント スタビライザー (B) をネジ (B8) とワッシャー (B9) でメイン フレーム (A) に取り付けます。

使用工具: M6

** 注意 - プルロープをエクササイズに使用する前に、まずストラップホルダーから外す必要があります。



使用工具 : M6



図2

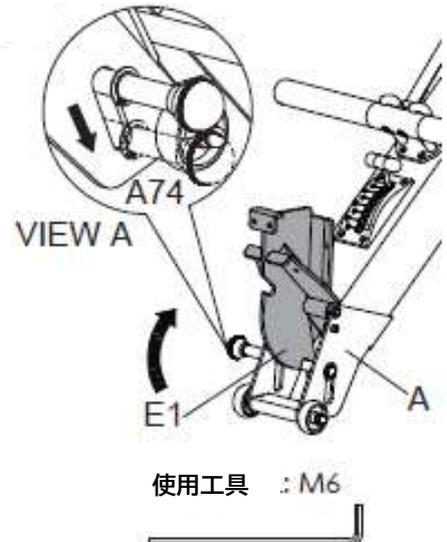
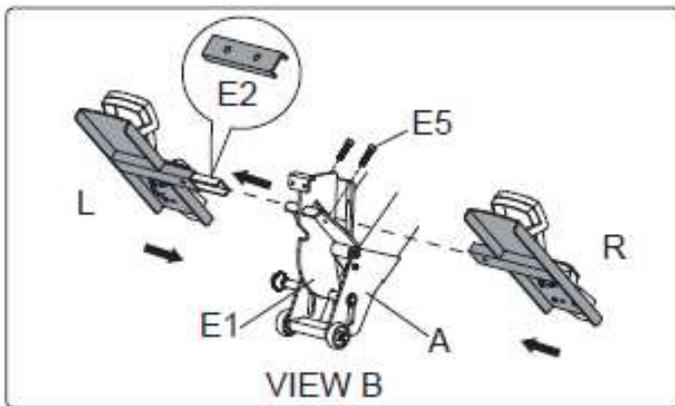
ペダルの組み立て方

ステップ 1 : グリップ (A74) を押し下げ、シャフト ベース (E1) を上側に回転させます。(VIEW A)

ステップ 2 : メイン フレーム (A) から 2 つの取り付け済みネジ (E5) を取り外します。

ステップ 3 : ペダル接続チューブ (E 2) を L ペダルまたは R ペダルに挿入します。(VIEW B) 次に、ペダル (L&R) をメイン フレーム (A) に取り付けます。

ステップ 4 : シャフト ベース (E 1) に、ステップ3でペダルをセットしたペダル接続チューブ (E2) をボルト (E5) で取り付けます。(VIEW B)



使用工具 : M6

図3

リアスタビライザーとサドル&サドルカバーの組み立て方

ステップ 1: スライドトラック (F) から 2 つの取り付け済みネジ (C2) と ワッシャー (C3) を取り外します。

ステップ 2: サドル (D) から 4 つの取り付け済みネジ (D8) を取り外します。

ステップ 3: サドルホルダー (D7) から 4 つの取り付け済みネジ (D2) を取り外します。

ステップ 4: 2 本のネジ (C2) とワッシャー (C3) を使用して、リアスタビライザー (C) を
スライドトラック (F) に取り付けます。

ステップ 5: サドル (D) を 4 本のネジ (D8) でサドルホルダー (D7) に取り付けます。

ステップ 6: サドルカバー (E) を 4 本のネジ (D2) でサドルホルダー (D7) に
取り付けます。

使用工具 :

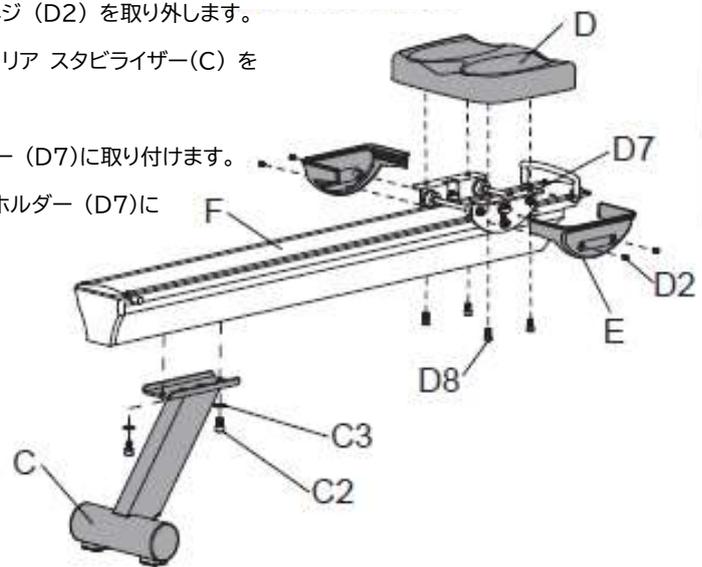
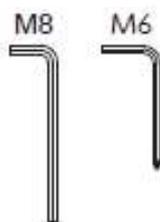


図4

スライドレールの組み立て方

ステップ 1: メインフレーム (A) から 6 個の取り付け済みネジ (F6) とワッシャー (F7) を取り外します。

ステップ 2: グリップ (A74) を押し下げ、シャフトベース (E1) を上側に回転させます。(VIEW A)

ステップ 3: 6 本のネジ (F6) とワッシャー (F7) を使用して、スライドトラック (F) をシャフトベース (E1) に取り付けます。

使用工具 : M6



反対側

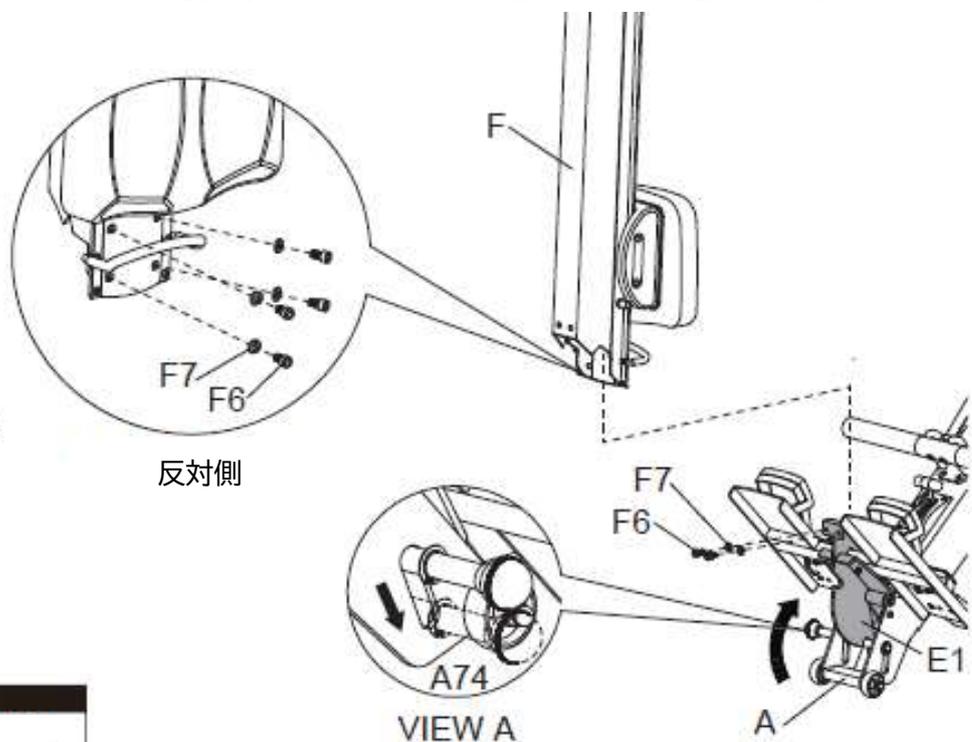
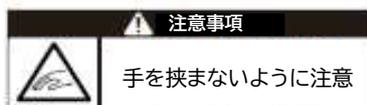
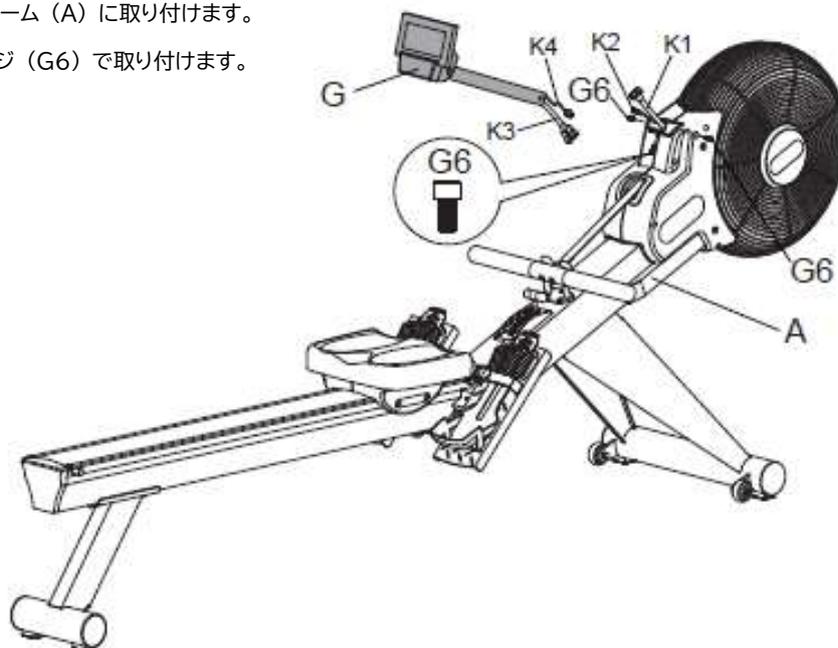


図5

コンソールの組み立て方法

- ステップ 1: コンソール ワイヤ (K1&K3、K2&K4) を接続します。
- ステップ 2: コンソール (G) をメイン フレーム (A) に取り付けます。
- ステップ 3: コンソール (G) を 3 本のネジ (G6) で取り付けます。



使用工具 : M5



図6

ペダルの調整方法

ペダルを調整する場合は、ペダルつま先部分のプレートを引き上げてください。ペダル (H3) を適切な位置まで上下に動かしてから、プレートを下げてペダルを固定します。

選べるポジションは7つ。左ペダル(H3)の調整も同様です。

走行中はペダルストラップを締めてください。

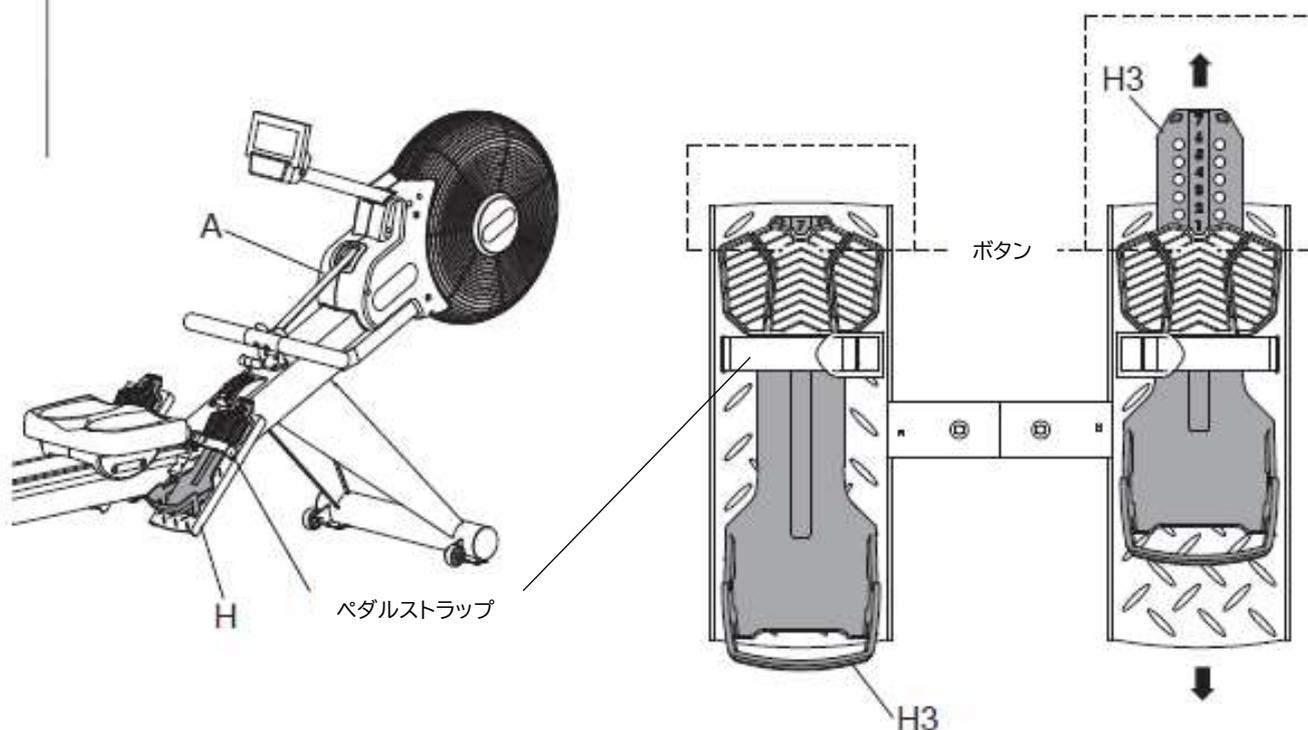


図7

電池の交換方法

電池カバーを取り外し、新しい電池を取り付けます。

電池仕様:単 3×4 本

※電池電源は、マシンを動かしていないときのパネル表示に使用。
使用中は内臓発電機の電力でパネル表示し、電池の消耗を抑制。

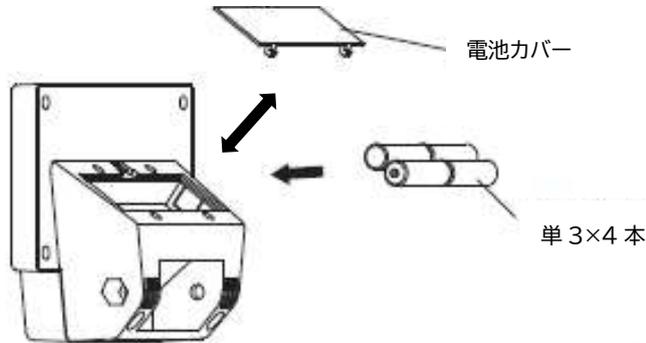


図8

折り畳み方

ステップ 1 : グリップ (A74) を押し下げるよりも、小さなハンドルバー (F5) を少し引き上げます。(VIEW A)

ステップ 2 : サポート ホイール (A76) を地面に接触させます。

ステップ 3 : 図のようにスライド トラック (F) を折りたたむと、グリップがメイン フレームに固定されます。

※グリップが正しくはまるまで、スライド トラック (F) を保持するようご注意ください。

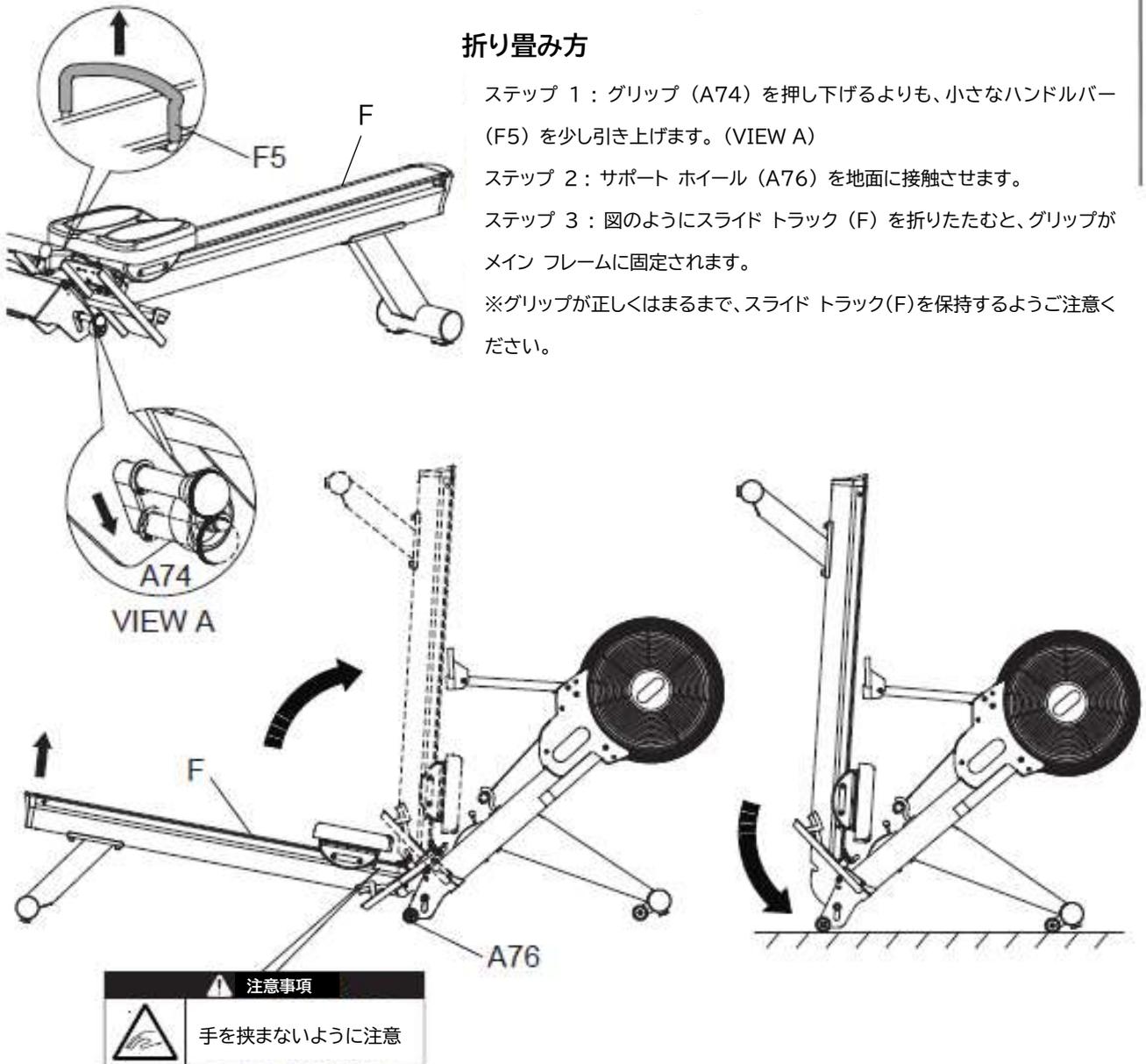


図9

マシンの移動方法

図 8.が終了したら、スライド トラック (F) を手で押さえます。

これで、マシンを新しい場所に簡単に移動できます。

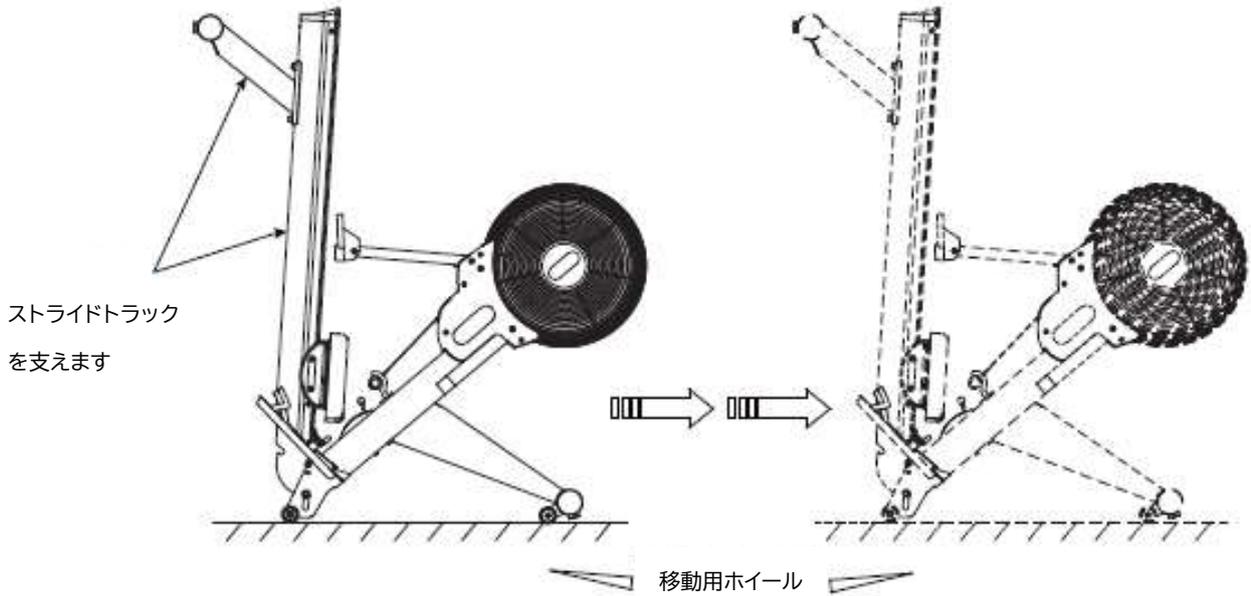


図10

コンソールおよびコンソールハウジングの 位置調整方法

コンソールの角度は図のように調整可能です。

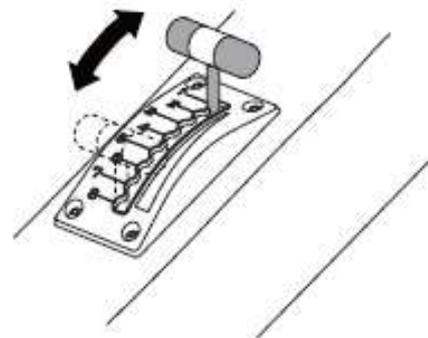
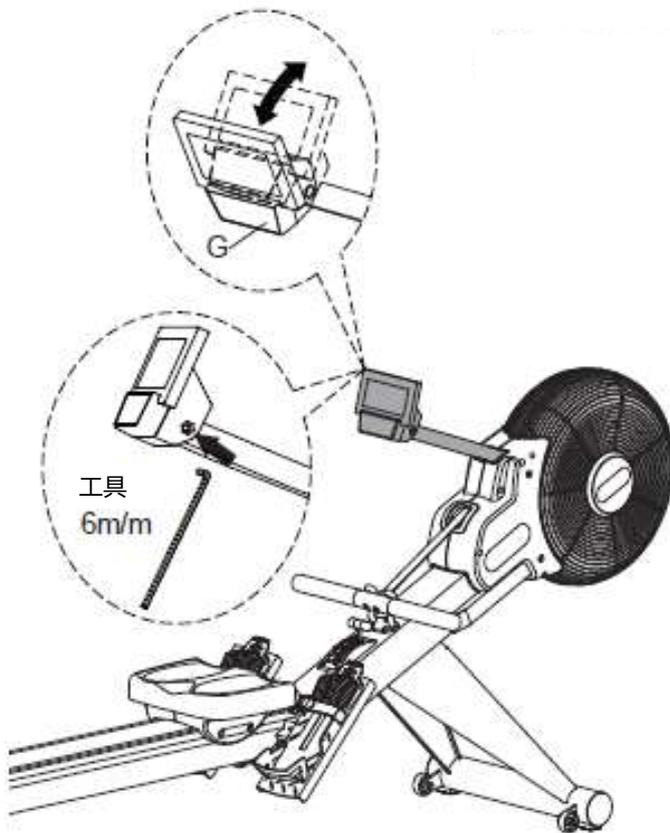
コンソールの締め付けを調整したい場合は、M6工具を使用して調整します。

抵抗レベルの調整方法

ギアシフトレバーを動かして抵抗レベルを調整します。

レベル 1~8 で調整できます

レベル 1 が最も軽く、レベル 8 が最も重くなります。



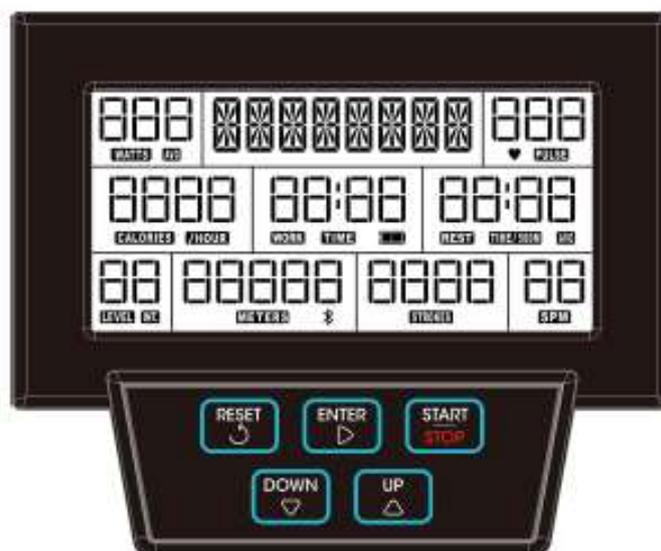


表 示 機 能

項 目	説 明
主要な 表 示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8つのパフォーマンス測定の本メインディスプレイ。 1. HH-MM-SS - ローイング時の時間表示 (時-分-秒) 2. AVG M/ST -漕ぎだしの平均距離 3. AVG SPM - 1分あたりの平均ローイング回数 4. AVG TIME/500M - 500メートルを完走するまでの平均時間 5. AVG WATT - 平均ワット 6. CAL/HOUR -一時間あたりの消費カロリー 7. MAX HR - 最大心拍数表示範囲 8. MAX WATT - 最大ワット表示範囲
ワット	・ ワット数を表示する
カロリー	・ 総カロリーを表示
レベルの内容	・ 抵抗値レベル表示、・ INT.(インターバル)モードでは、インターバルの周期を表示します。
運動時間	・ 漕いだ時間が表示されます。(休憩時間は含まれません)
メートル	・ 漕いだ総距離をメートルで表示します。
ストローク数	・ 総ストローク数を表示します。
脈 拍	・ 心拍計接続時の心拍数表示
休憩時間 時間/500M	<ul style="list-style-type: none"> ・ INT.(インターバル)モードでは休憩時間を表示します。 ・ 500メートルを全ストロークで完走するのに必要な予想時間)
SPM	・ 1分あたりのストローク数 (ストローク率) を表示

キー機能

項目	説明
UP	・ 設定値を上げるか、選択を設定します。
DOWN	・ 設定値を下げるか、選択を設定します。
ENTER	・ 設定または選択を確定します。
RESET	・ 2 秒間長押しすると、コンピュータが再起動します。 ・ 設定値をクリアします。 ・ トレーニング終了後、メインメニューに戻ります。
START STOP	・ ローイング運動を開始または停止します。

操作手順

1.クイックスタート

- 1) コンソールの電源を入れ、「START/S TOP」キーを押すと、プログラムは「QUICK START」モードに入ります。
- 2) エクササイズ中は、「時間 / 距離 / カロリー / ストローク」の表示とともに表示されるデジタルがそれに応じて増加します。
- 3) SPM 信号が入力されていない場合、TIME / DISTANCE / CALORIES / STROKES は一時的にカウントを停止し、SPM 信号が入力されるとカウントを継続します。
- 4) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、ワークアウトが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



2. 目標距離 - プログラム

電源オンモードで、ユーザーは「DISTANCE」PROGRAM を選択し、「ENTER」を選択して確認すると、自動的に設定モードに入ります。

距離設定プログラム

1) DISTANCE - PROGRAM を選択し、ENTER キーを押すと、プログラムが開始されます。

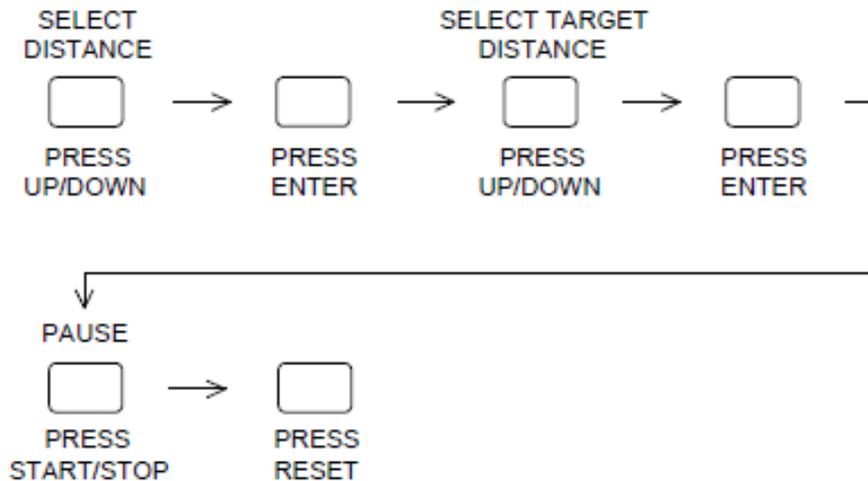
内蔵の 2000 メートルの距離プログラムが点滅表示されます。

2) UP/DOWN キーを押して目標距離値を設定し、ENTER を押して確定します。

距離表示範囲は 100 ~ 10000 メートルです。

3) SPM 信号入力によるローイング中、設定した目標距離からプログラムがカウントダウンを開始します。ディスプレイ「時間、カロリー、ストローク」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。

4) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



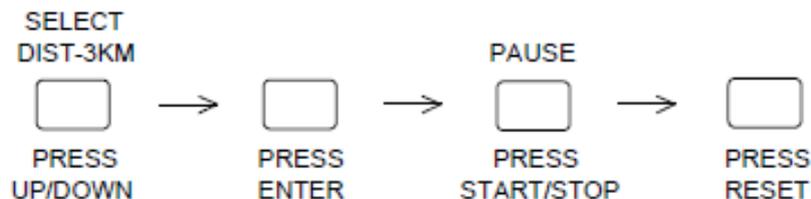
3. 目標距離 - 3KM - プログラム

1) 電源投入モードで、ユーザーは「DIST-3KM」PROGRAM キーを選択し、ENTER を押して確定します。

プログラムは、内蔵の 3000 メートル DISTANCE プログラムに自動的に入ります。

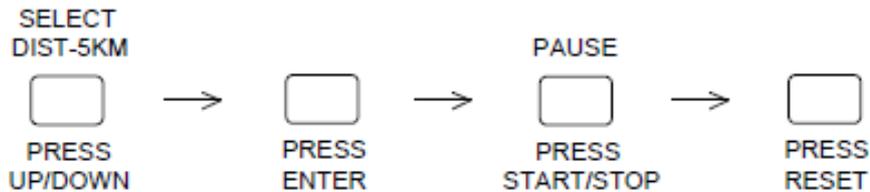
2) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは設定された目標距離からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「時間、カロリー、ストローク」で表示されるデジタルは、それに応じて増加します。

3) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



4. 目標距離 - 5KM - プログラム

- 1) 電源投入モードで、ユーザーは「DIST-5KM」PROGRAM キーを選択し、ENTER を押して確定します。
プログラムは、内蔵の 5000 メートル距離プログラムに自動的に入ります。
- 2) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは設定された目標距離からカウントダウンを開始します。
ディスプレイ「時間、カロリー、ストローク」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 3) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。

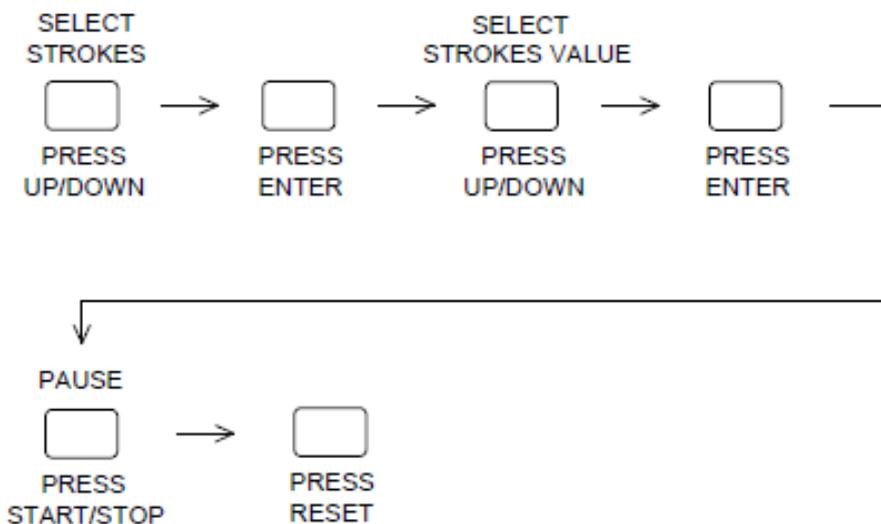


5. 目標ストローク - プログラム

電源オンモードで、ユーザーは「STROKES」PROGRAM キーと「ENTER」を選択して、設定モードに入ることができます。

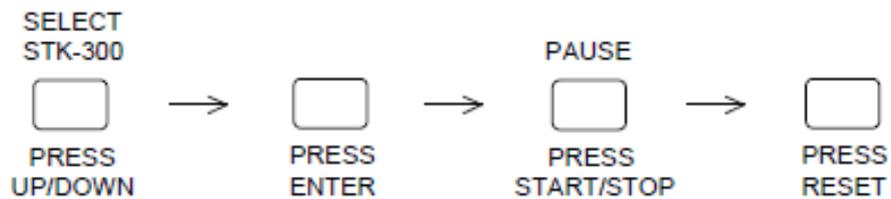
ストローク設定プログラム

- 1) STROKES-PROGRAM を選択し、ENTER キーを押して確定すると、プログラムが内蔵の 200 回に入り、点滅表示されます。
- 2) UP/DOWN キーを押して STROKE 値を設定し、ENTER を押して確定します。
STROKE の表示範囲は 10~9990 です。
- 3) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは設定された STROKE からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「時間、カロリー、メーター」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 4) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



6. 目標ストローク STK -300 – プログラム

- 1) 電源投入モードで、ユーザーは「STK-300」の「プログラム」と「ENTER」を選択して確認すると、内蔵の 300 ストローク スタート モードに自動的に入ります。
- 2) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは「300 STROKES」表示からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「時間、カロリー、メーター」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 3) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



7. 目標ストローク STK-500 – プログラム

- 1) 電源投入モードで、ユーザーは「STK-500」の PROGRAM キーを選択し、「ENTER」を押して確定すると、内蔵の 500 ストローク スタート モードに自動的に入ります。
- 2) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは「500 STROKES」表示からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「時間、カロリー、メーター」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 3) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。

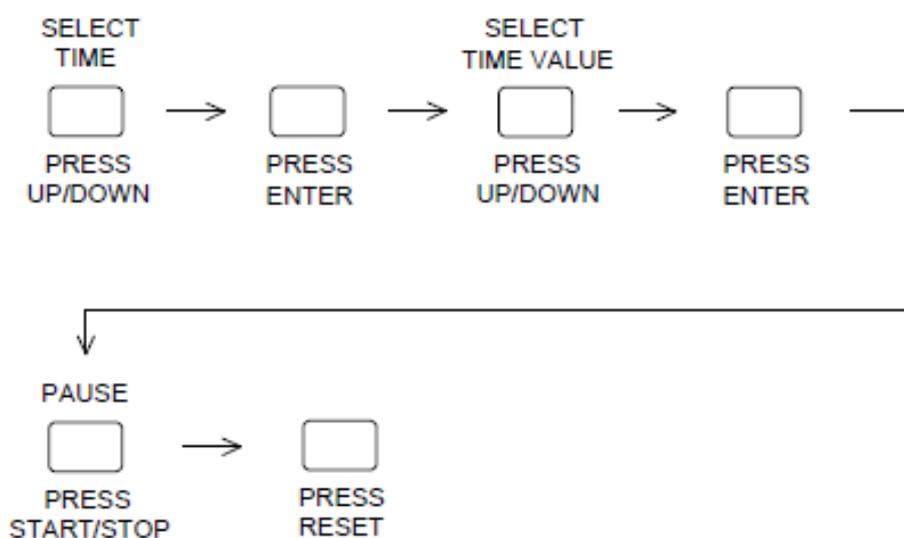


8. 目標時間 - プログラム

電源オンモードでは、ユーザーは「TIME」PROGRAM キーと「ENTER」を選択して確定すると、自動的に設定モードに入ります。

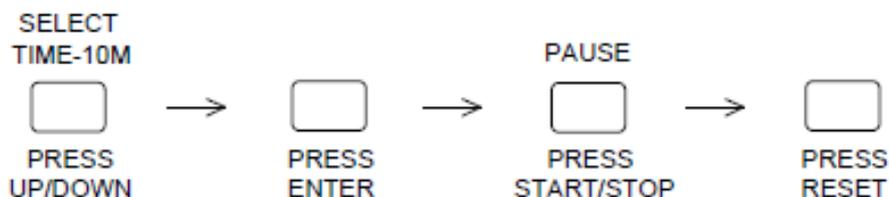
時間設定プログラム

- 1) TIME-PROGRAM を選択し、ENTER キーを押して確定します。プログラムは、表示されている 20:00 分までに内蔵プログラムに入ります。
- 2) UP/DOWN を押して TIME プログラムを設定し、ENTER を押して確定します。
TIME 表示の設定範囲は 1:00~99:00 です。
- 3) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは「TIME」DISPLAY からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「カロリー、メーター、ストローク」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 4) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



9. 目標時間-10M - プログラム

- 1) UP/DOWN を押して「TIME-10M」プログラムを設定し、ENTER を押して確定します。
プログラムは内蔵の 10:00 TIME に自動的に入ります。
- 2) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは「10:00 TIME」DISPLAY からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「カロリー、メーター、ストローク」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 3) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



10. 目標時間-30M – プログラム

- 1) TIME-30M を選択し、ENTER キーを押して確定すると、プログラムは 内蔵の 30:00 TIME に自動的に入ります。
- 2) SPM 信号入力によるローイング中、プログラムは「30:00 TIME」DISPLAY からカウントダウンを開始します。ディスプレイ「時間/距離/カロリー/ストローク」で示されるデジタルは、それに応じて増加します。
- 3) エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



11. インターバル – プログラム

スタンバイモードでは、ユーザーは「INTERVAL PROGRAM」を選択し、Enter キーを押して確定します。

その後、本体は内蔵プログラムに入り、ディスプレイに「WORK TIME」が点滅表示されます。

(1). 勤務時間の設定方法は？

1. 「WORK TIME」が点滅しているとき、ユーザーは UP/DOWN を押して WORK TIME を設定し、ENTER を押して確定します。WORK TIME の設定範囲は 00:10～10:00 です。

(2). 休憩時間の設定方法

1. 「REST TIME」が点滅しているとき、ユーザーは UP/DOWN を押して REST TIME を設定し、ENTER を押して確定します。REST TIME の設定範囲は 00:10～10:00 です。

(3). インターバルサイクリングの設定方法は？

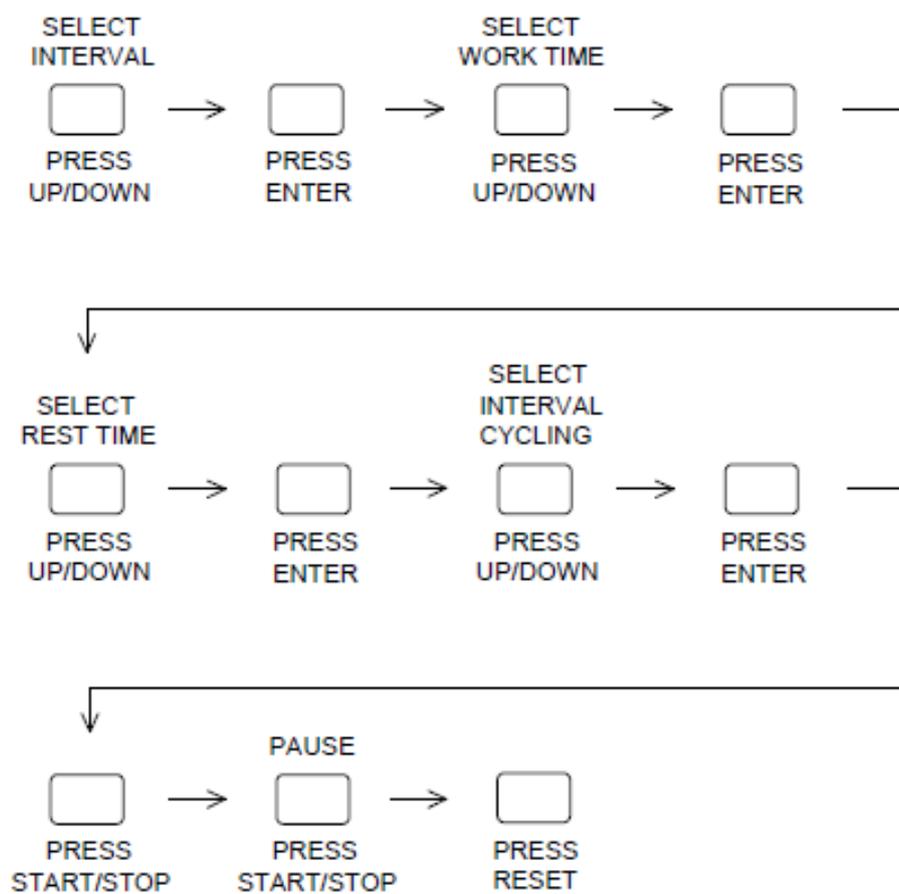
1. 「INTERVAL CYCLING」が点滅しているとき、ユーザーは UP/DOWN を押して INTERVAL を設定し、ENTER を押して確定します。START を押してエクササイズを開始します。

INTERVAL の設定範囲は 1 ～ 99 です。

2. ユーザーがマシンを漕ぎ始めると、つまり SPM 信号が入力されると、設定された WORK TIME と REST TIME に従って、PROGRAM が自動的に作動します。

INTERVAL サイクリングが終了すると、INTERVAL PROGRAM は毎回データを保存し、目標の INTERVAL CYCLING に達するまで停止します。

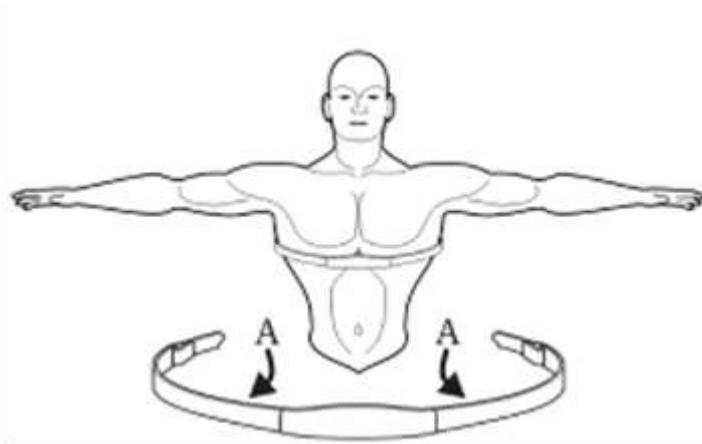
3. エクササイズ中に START/STOP キーを押すと、トレーニングが一時停止します。RESET ボタンを押して表示データをクリアし、スタンバイモードに戻って機能を開始することができます。



脈拍測定について

脈拍は、付属の「ワイヤレス脈拍チェストベルト」を装着ください。

チェストベルトは下図のように直肌の胸の位置に装着して使用します。



【参考】

① 5kHz 周波数が対応可能 (ワイヤレス対応)

例えば、G.PULSE 社 [ACS-HR01-MF](#)、POLAR 社 [T31/T34](#) の商品をおすすめします。

②表示範囲：40～220

※表示されない場合は、取り付け位置を調整していただくか、水で少し湿らせてください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製 品 名	SPORTOPローイング
製 品 番 号	FR-900

お買い上げ日： 年 月 日

保証期間はお買い上げの日から1年です。

お名前

ご住所

電話番号

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

1. 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き、納入後1年間を原則として販売店が保証修理致します。
2. 保証修理は補修または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
3. 出張修理の場合は、出張費を請求する場合がありますので予めご相談下さい。
4. 保証修理をお受けになる場合には、製品保証書の提示が必要となります。
5. 保証期間内においても、保証書の提示がない場合は、無償修理の対象になりませんので保証書は大切に保存して下さい。
6. 保証期間内であっても、次の場合は有償にての修理となります。
 - ・誤用、乱用及び取扱の不注意によるもの
 - ・弊社が認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - ・火災、水害、地震、落雷及びその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - ・部品の通常の摩耗、又は。経年劣化
 - ・運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、及び外見上の変化。
 - ・機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）
7. その他の保証対象免責事項
 - ・運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかる費用）
 - ・取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - ・保証期間内中でも使用できなかった事による期間損失等の費用。
8. 当社の全責任は、全ての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争については、富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
9. 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

販売店



— Fitness & Bicycle —
株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市若富町186

TEL.0766-21-0958 FAX.0766-21-0957

E-mail fitness@fujimori-r.com